

●しゃらくかい
写楽回会

令和3年4月30日 64

<https://3ban.nobody.jp/syaraku/syaraku.html>

投稿/投票宛先 ; kinuko_thompson@hotmail.com

© 2021 Sharakukai

卯月兼題「四月」出題：おこ

写真俳句



1 つつじ咲く卯月晴天とりの声

季語：卯月（春）



2 何もかも蠢動（しゅんどう）するや四月かな

季語：蠢動（春）

写真は茎ブロッコリー。



3 喜寿過ぎて次は傘寿か春惜しむ

季語：春惜しむ（春）

病を蹴散らし傘寿に向かって挑戦中。



4 あさ八時重荷しよいたり進級す

季語：進級（春）

希望とともに大きな不安を抱えてスタートする春。



5 はや四月鳶啼く空を見て遊ぶ

季語：四月（春）

あつと言う間に暖くなり、海岸に行くとトビが高く舞ってました。パンを小さくちぎって高く投げると、上手にくわえて行きました。



6 地を染めて風をも染める芝桜

季語：芝桜（春）

秩父武甲山の麓、羊山公園の芝桜は見事です。



7 この四月はしけてはずむ顔集う

季語：四月（春）

イングランドは4月12日からコロナ規制が一部緩和されました。パブなどは屋外に限った飲食が許可され、同居家族以外とも同様に、屋外なら会えるようになりました。



8 太白の毬が連なり咲く四月

季語：四月（春）

ロンドンの王立キュー植物園。



9 想う人待つごと四月ブルーベル

季語：四月（春）

イングリッシュブルーベルは日本の歳時記にはありませんが、私は4月に入るとそわそわして森の散歩に行きたくなります。



10 フローラの息吹を頬に四月来る

季語：四月（春）

秩父のお寺では枝垂桜、八重桜、花桃などなど一斉に満開を迎えており、まるで春の女神が一声かけたようでした。



カット提供：おこ（無料イラスト サイトより）

- 1 入学の少女の背文母に勝ち** 季語：入学（春）

今年入学のご近所の少女、少し見ないうちにすっかり大人びておりました。
- 2 桐箱の贈答茶開け四月かな** 季語：四月（春）
- 3 空の青 風の匂いも四月かな** 季語：四月（春）
- 4 四月まで生き櫻めで逝きし吾子** 季語：四月（春）

雪の日、脳出血で危篤になりましたが、...
- 5 永き日に草引く人や貸農園** 季語：永き日（春）

高緯度のイギリスでは、春分を過ぎるとどんどん陽が伸びるのを実感できます。
- 6 黄の帽子小さき姿や春四月** 季語：四月（春）

四月はいつも新一年生が小さく見えます。
- 7 ランドセルはおさがりでない四月かな** 季語：ランドセル、四月（春）
- 8 口数の少なくなりや万愚節** 季語：万愚節（春）

気の利いた嘘が潤滑油のようになれば良いのですが。
- 9 友の去り早や五回目の四月尽** 季語：四月尽（春）

友がコロナ禍も知らずに逝きて5年が経ちました。
- 10 まだ4月鳥（野鳥）には寒い春の雨** 季語：四月（春）

自由俳句

- 陽閑 **嘘に酔い心和むは四月馬鹿** 季語：四月馬鹿（春）
- 卯月来ぬウサギ飛び出すイースター** 季語：卯月、イースター（春）
- 夏初月（なつはづき）毛布片付け夢うつつ** 季語：夏初月（陰暦の四月、春）

短歌

準坊

コロナ禍にマスク着け行くコンサート弦楽奏者もマスクをして

前後左右の座席は一つ空けての演奏会。演奏者の半分はマスクでした。

北切雀

草の葉の輝き撫でて走り去る**風の帰るはコバルトの空**

好天ながら冷たい風が強い日が続きます。

**川柳**

準坊

ワクチンを外交にするクマのプー

チャイニーズワクチンを外交手段に使うなんて！

写真投稿

陽閑



ロンドン 王立キュー植物園

太白桜

日本原産の太白桜は日本では絶滅した種でしたが、英人鳥類学者で園芸家のイングラム氏（Collingwood Ingram 1880～1981）の屋敷の庭での植樹が確認され、1932年に日本に逆輸入、復活した桜です。

iSAMU

**ポインセチアの花**



埼玉県志木市
長勝院旗桜



目白と河津桜

令和3年3月「橋」(出題：一枝)の作品と投票結果

<< >>は作者コメント、*は読者コメントです。

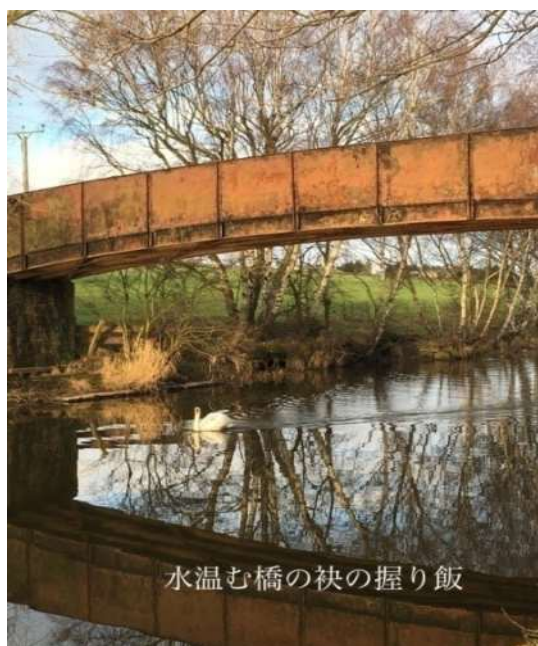
- * 今月も皆さんの感性豊かな写真と俳句でプチ旅行気分味わせてもらいました(^ ^) /。
- * いつも楽しみにしています。自由俳句、短歌、川柳、写真投稿も楽しませていただいています。
- * 三月号はレベル高い！

写真俳句 投票数：34

一席

水温む橋の袂の握り飯 一枝 (9 票)

季語：水温む (春)



- * 写真はピクニックにはまだ寒い感じもしますが、一歩きした後のおむすびは美味しそう。自分はシンプル塩むすびがいいかな。白鳥は水鏡を荒らして、巣作りの場所を探している？春の気配を感じさせ心和む句と写真です。
- * 名所旧跡と言う訳でもないローカルな場所かも知れませんが、悠々と進む白鳥がいるなんて素敵！それにバックの木に葉が出てきているのか、何か花が咲いているのかこの先の移り変わりが気になる、期待を胸に見に来る…なんて想像してしまいます。最後の「握り飯」もグッド。全体的に飾らない感じも好きです！想像を膨らませてもらえて楽しい。きっと作者さんのお気に入りの場所に違いないですね。
- * 橋の下から見える春を映す美しい水面、橋が額縁のようです。「握り飯」力強い。
- * おにぎり食べたベタベタ手を川辺で洗っても凍えないのでしょうか。二票投票しました。

- * 「取り合わせの句」のように鑑賞しました。春の橋の袂と握り飯が互いに響く効果を醸しています。古色蒼然たる橋と手作りの握り飯。温もりを感じさせる句。
- * ちょっと寒そうですが、川を行く白鳥をうまく撮れましたね。
- * 春を感じながら握り飯を食う(?) この景色でしたら十分春を感じられますね。



春の雲ゆらりテムズのつり橋や 陽閑

季語：春の雲（春）

<< ロンドン郊外（Teddington）つり橋。 >>

- * 雲の様が面白い。のんびりした気分させてくれます。
- * この句は好きですが、「つり橋や」の「や」が気になります。いつき先生だったらどんな添削するのでしょうか？
- * タワーブリッジのような有名なものでなく春の雲が似合うような風雅な橋がいいですね。
- * 有名なテムズ川のロンドン橋と一風違って、吊り橋も情緒があっていいですね。
- * 「ゆらり」がのんびりした感じでいいですね。
- * 雲の低さを感じます。イギリスに住みすぐに感じたことです。とても懐かしい風景です。



五千尺吊り橋洗う雪解川 池福楼

季語：雪解（春）

<< 上高地のシンボル、標高1500mの河童橋。橋からの穂高連峰の眺めはため息が出るほど。 >>

- * まるでペンキで塗ったような青空。
- * きれいな写真ですね。
- * 気持ちが洗われる絶景に、雪解川という表現がマッチしています。



雪残るVの橋げた歩道橋 北切雀

季語：残雪（春）

- * 写真が気に入りました。
- * 車道を跨ぐ歩道橋、Vの字に良く目が行きましたね。
- * なごり雪の寒々とした風景の中に浅い春を感じる画像がいいですね。
- * 「V」の字は橋げたではなく、橋脚では？

作者：ご指摘ありがとうございます。どうも無知で困ります。



春一番吹いて跳ね橋天につく 千泉

季語：春一番（春）

<< 風の強い日で、雲が流れる向こうの青空もきれいでした。 >>

- * 「春一番」では風が吹いているので、中七で又「吹いて」は勿体ないかも。
- * 勢いがある句ですね。春一番が吹くのと跳ね橋が天につくのが因果関係にないので散文的にはならない図、意外性もあり、インパクト大だと思います。
- * 「跳ね橋」というとゴッホを連想するのですが、都市の跳ね橋ですね。
- * 門司港の跳ね橋は周囲の街並みと共に旅情をそそる心に残る街です。

吊り橋の悲鳴を乗せて春疾風 (はるはやて) 準坊

季語：春疾風 (春)



吊り橋の悲鳴を乗せて春疾風

<< 長い吊り橋を強い春風が吹き抜け渡る人の悲鳴が聞こえてきました。>>

- * スリル満点の橋。「春疾風」でぐらりと揺れた気分。
- * 緑の山間、春疾風、悲鳴と五感が目覚めました。
- * 季語の春疾風がバッチリですね。
- * わたる人の悲鳴が聞こえてくるようです。
- * 視覚と聴覚そして触覚まで、お見事です。臨場感満点ですね。

* どこかワクワクとしたイメージのある「春疾風」。観光客の高揚感が良く出ています。



一の橋 二の橋渡る 春のみち

一の橋 二の橋渡る 春のみち 梵木

季語：春 (春)

- * 下五の「春のみち」を「春の風」では如何でしょう。
- * かつての面影から遠くとも、いつまでも残したい橋の名。
- * これは麻布界限でしょうか？昔からどの地方にもある橋名。
いくつもの橋を渡る行為が日々の繰り返し。それを凝縮した句。

雪止みて ポツンと一つ赤い橋 昼寝覚

季語：雪 (冬)



雪止みてポツンと一つ赤い橋

<< モノトーンの色の中、鮮やかな橋の赤い色が目に映りました。>>

- * 写真なしでも鮮明に風景が目に浮かぶ句です。
- * ナイスタイミングの一枚ですね。句も目に映る景色を素直に表していて好きです。
- * 写真と句と作者の目線が好きです。

* 白と赤のコントラストが見事。橋の設計者はこんな冬の風景を意識したことでしょうか。

風立ちてつり橋ゆれて春動く 久芽

季語：春動く (春。「春めく」の子季語)



風立ちつり橋ゆれて春動く

<< 信濃へ行った時にアルプスをバックに小さな吊り橋を撮りました。>>

- * いい季語を選びましたね。春が遅い高地にも確実に春が来る。
- * 「春動く」は揺れる橋にも掛けていますが、旅行先で変わる季節を体験したぴったりの季語ですね。

うららかや航跡くねる隅田川 iSAMU

季語：うららか (春)



うららかや航跡くねる隅田川

<< このレインボーブリッジは歩いて渡れます。歩こう会で田町駅で降りてお台場まで歩きました。お台場には自由の女神(仏政府公認)があります。1時間以上掛かります。>>

- * 川に沿って発展した世界各地の都市の物語のようです。
- * 名高い唱歌「♪春のうらのすみだーがわー」が口をついて出てくる風景です。

俳句 投票数：32



ストックホルムの橋 撮影：一枝

一席

デバ地下へ春事はそこだけ日本橋 梵木（5 票） 季語：春（春）

- * デバ地下！一気にテンション上がる！
- * 季節感の無いコンクリとガラスの都心の佇まい。春の美味が溢れるデバ地下の華やかさが強く印象に残る句。
- * ひな祭り近くのデバ地下の賑やかさにお江戸日本橋とは実にお上手。実は私もデバ地下を使い3月3日に「雛の日に迷い神いるデバ地下や」と詠みました。日本居たらひな祭りデバ地下で何を買おうか悩むだろうと、、、でもこの句の方は私より数段良く詠んでいます。二票投票しました（陽閑）。

朝がすみ異国語走る二重橋 池福楼（5 票） 季語：朝霞（春）

<< 皇居ランナーも国際的になって。 >>

- * 春の足音を聴く感じがします。
- * お堀にかかる橋は、他の橋とは趣が違いますね。
- * 早朝のジョギング国際色豊かですね。

佳作（令和3年3月号掲載順）

1 花冷えや橋の下ゆく船速し 千泉 季語：花冷え（春）

<< 丘の上の桜の蕾の下でぶるっと寒さを感じ、眼下の船も寒そうでした。 >>

- * 花見時に花冷えになる事はよく有りますね。
- * 作者の視点から過ぎ去る船を垣間見ることができるし、空気も感じられます。
- * 花冷え時は結構寒いです。そんな時は船も早く暖かい栈橋へ！

3 冴え返る橋行く人の背の丸く 北切雀 季語：冴返る（春）

- * ぶり返す寒さに背を丸めて急ぐ様が窺えますね。

4 海渡る橋に渦巻く春の潮 昼寝覚 季語：春潮（春）

<< 四国と淡路島を結ぶ大鳴門橋には、渦潮を見られる歩道が橋桁の下に設置されていました。 >>

- * 海に架かる長くて高さのある橋から見る自然の神秘。足がすくみます。
- * 春の潮…とてもロマンチックな響き。
- * 渦潮が見える所は橋脚が高いので、怖さも感じます。
- * 海上にかかる橋からの渦潮の眺めは圧巻ですよ。

6 孫と公文通うパト二橋雁休む マム

季語：雁（秋）

<< ロンドンのテムズ川の雁は渡りをしないで、近場で住み着いている雁が多いそうです。>>

- * 公文はイギリスの主な都市に教室を開いていますね。
- * 可愛いお孫さんと雁を眺めながら、．．四季を問わず大切にしたいひと時。

7 麗らかや橋で歩を止め眺め入る 陽閑

季語：麗らか（春）

- * 思わず足を止めて川面を眺めるいい季節の感じが出ています。
- * 自然な気持ちの表現が心に残ります。
- * 橋の上で歩みを止めて眺め入る春の景色、想像力がかきたてられます。
- * 今年の桜は素晴らしかったので何度も橋で歩を止め眺めてました。
- * 麗らかだからの 行動ですね。

8 棧橋に小舟の揺れて花見かな 久芽

季語：花見（春）

<< 河岸のお花見は舟から楽しむのもいいですね。>>

- * 花見舟とは風雅、揺れも上品な揺れでしょう。
- * こんなお花見私もしたいです。素敵でうらやましい限り、憧れの一句です。
- * のどかな雰囲気がいいですね。楽しい気持ちにさせてくれる句です。
- * まったく 良い眺めでしょうね。コロナが無かったら色々楽しめたのに。
- * 私も一度船から桜を見てみたいです。

9 谷川の木橋をふたり彼岸西風（ひがんにし） 一枝

季語：彼岸西風（仲春）

<< 「彼岸西風」は春の彼岸の頃に吹く西風。この風が過ぎると、日増しに暖くなる。>>

- * 「写楽句会」ではいい季語をいろいろ教えてもらえますね。「ふたり」がこの句の鍵でしょう。

10 跨線橋くぐる燕の帰り道 準坊

季語：燕（春）

<< 列車と一緒に燕も帰ってきました。>>

- * 燕の飛翔を見るのは気持ちのいいものです。
- * ズーミングした動画のように映像が見えるよう。「燕返し」の言葉のように橋を行き来する燕に春たけなわを感じる。

この写真で一句

1月～3月兼題写真 「居酒屋」 出題：池福楼

- * 一つの写真から作者の様々な思考や体験が表れますね。どれもが形に拘らず自由闊達で面白い作品揃いです。
- * 同じ写真を見ても、各自の視点や感性は違う。当たり前ですが、実体験が織り込まれて楽しめる句ばかりです。



昼寝覚 **十二月飲み屋のメニュー消えたまま** 季語: 十二月 (冬)

<< 真ん中にある黒板にはいつもならメニューが書かれているのですが、
コロナのためか消されたままになっています。>>

* 空白のメニューボードを見て広がる想像力が豊かです。

iSAMU **初春や二度漬け禁止串カツや** 季語: 初春 (新年)

<< 写真の串カツの文字が目に入りました。大阪の通天閣辺りの串カツ屋に入りますと、「兄ちゃん、
二度漬け禁止やで」と良く注意されたものです。ほんま旨いで！大阪の串カツ二度漬け禁止やで！>>

* 句とコメントの面白さに大阪に旅した気分になりました。

マム **毎年の破魔矢、甘酒今、虚し** 季語: 破魔矢 (新年)、甘酒 (夏)

* 切なくも大事にしたい思い出ですね。
* 元気出してください。蒼天で見守るお嬢さんのためにも。

池福楼 **秋寒や昭和歌謡の酒美し** 季語: 秋寒 (秋)

* 昭和という言葉に漂うレトロ感、いいね！

準坊 **焼鳥の煙の誘いますずビール** 季語: ビール (夏)

* 焼き鳥にビール。最強。
* 焼き鳥の焼く匂いイコールビールは飲んべえの条件反射ですね。

北切雀 **徳利が袴をはいて雪もよい** 季語: 雪もよい (冬)

<< ドラム缶の「服は着せてネ」から祖父の晩酌風景を思い出しました。>>

* “服は着せてね”は犬のことです。ここはペットが店内にも入れる珍しい居酒屋です (出題者より)。

陽閑 **春寒の酒と話の花盛り** 季語: 春寒 (春)

* 三寒四温、楽しい宵が過ぎていきますね。

千泉 **不要不急賑やかメニュー春暮るる** 季語: 春暮るる (春)

* 下五のリズムがいいですね。
* 不要な外出などあるはずが無い。アツアツの串カツが呼んでいる。

久芽 **花冷えや居酒屋前で躊躇する** 季語: 花冷え (春)

<< 熱燗で一杯、このご時世考えてしまいます・・・>>

* なんとも不自由な世の中になったもので。
* 私も同じ体験をしました。結局は諦めましたけど。

一枝 **居酒屋の後は草餅母娘連れ** 季語: 草餅 (春)

<< 娘と旅した時のことですが、実際はケーキでした！>>

* 母娘旅行は楽しいだけでなく、幾層にも思いが重なる思い出です。
* 飲めない女性陣は次に行く甘味処が狙いでしたか。

自由俳句陽閑 **ひな祭り行事食だけ忘れまい**

季語: 雛祭り (春)

* 写真のお料理は何というものですか? ちらし寿司とも違うようですが。

作者: 塩漬け桜を乗せた道明寺桜餅です。

北切雀 **中天に満月置いて二月果つ**

季語: 満月 (秋)、二月果つ (春)

<< 珍しく雲ひとつない満月が見られました。短いながらもいろいろあった二月が終わる。満月は毎月あるので季語としては弱く、「二月果つ」に重さが行くのではと思います。>>

* 「二月果つ」の季語がいいですね。厳寒の中どこかほっとした気持ちかにじむ言葉です。

短歌準坊 **風光りだんだん増える咲く花の色とりどりに楽しくなりて**

<< 家の庭にも春の色が増えてきました。>>

* 色とりどりの花。今度ぜひ写楽にアップしてください。

北切雀 **いくつもの橋に思い出 滔々と北緯五十度タインの川よ**

<< 成人してから26年も暮らした北東イングランド。ティンはその地方の最大の川です。>>

* 「ティン川」を検索しました。歴史ある欧州らしい重厚な建物と橋の多い美しい街並みですね。一度訪ねてみたい。

写真投稿

昼寝覚

東京湾口に掛かる東京ゲートブリッジ

* この写真はパネルにして売れるでしょう。

iSAMU

冬青 (そよご)

* 冬青という植物は見たいと思っていました。見は青ではなく赤なんです。可愛い。

- * 皇月5月の兼題は北切雀から「石」、6月は準坊さんから「舟/船」、7月は千泉さんから「山」と出ています。
- * 令和3年卯月4月号の作品の写俳、俳句の中で「いいね」と思われた2作品の番号を投票して下さい。
- * また特にいいと思われた写俳、俳句各1作品に持ち票2票ずつを投票されても結構です。
- * 句とは別に写真として特にいいと思われる写俳作品がありましたら「写真いいね!」として投票下さい。
- * 作者名が入った作品は投票対象外です。
- * 投票しなかった作品へのコメントも遠慮なくお寄せ下さい。写真、短歌、川柳、自由俳句も大歓迎です。
- * 4月号への投票、5月号作品への投句、投稿の締め切りはともに5月20日です。
- * 読者さんからの写真や句の投稿、兼題提案もお待ちしています。

* 今年から「この写真で一句」という3ヵ月毎の部門を始めました。兼題は言葉ではなく写真です。

1. 兼題写真から自由に発想して「俳句」を詠んで下さい。
2. 川柳、短歌と同様に投稿は自由です。
3. 作品は記名で投票の対象外となります。
4. 4月～6月の兼題写真は準坊さんの「隅田川」です。
5. 7月～9月の兼題写真を募集しています。



写楽句会 連絡先 : kinuko_thompson@hotmail.com
写楽句会 : <https://3ban.nobody.jp/syaraku/syaraku.html>
四季の森空間 : <https://isamusouma.web.fc2.com/>

© 2021 Sharakukai